## 特定交通安全施設等整備事業の推進状況一覧表(推進プログラム)

資料3

## 〇: 令和元年度の取り組み項目

事業名		警察	国土交通省						
			静岡国道	浜松河川 国道	沼津河川 国道	静岡県	静岡市	浜松市	NEXCO
	①生活道路対策の推進	0	0	0	0	0	0	0	
歩行者・自転車対策及び 生活道路対策の推進	②歩行空間のバリアフリー化	0				0	0	0	
	③通学路における安全·安心な 歩行空間の確保	0	0		0	0	0	0	
	④安全で快適な自転車利用 環境の創出	0				0	0	0	
幹線道路等における交通	⑤事故危険箇所対策の推進	0		0	0	0	0	0	
の安全と円滑の確保	⑥高速自動車国道等の 誤進入(逆走)対策の推進	0		0					0
   交通円滑化対策の推進	⑦信号制御の高度化	0							
文通门消化対象の推進	⑧ハード・ソフトー体となった 駐車対策の推進	0							0
高度道路交通システム (ITS)の推進	⑨高度道路交通システム(ITS) の推進	0							0
その他	⑩道路標識の充実		0	0	0	0	0	0	0

業名	整備事業の推進状況・ 事業概要	実施機関	平成30年度の実施結果	令和元年度の実施結果	備考
	・ゾーン30、あんしん歩行エリアの整備 ・生活道路におけるハンプの 設置等による死傷事故抑止	警察	・ゾーン30を9地区へ導入。 ・路側標識及び横断歩道の高輝度化を実施。	・ゾーン30を7地区へ導入。 ・路側標識及び横断歩道の高輝度化を実施。	
		国土交通省	【静岡・浜松・沼津】 生活道路の安全対策を推進すべく、管内の自治体(生活道路対策エリア がない自治体を含む)へ説明会及び意見交換を実施。 【静岡国道】 ・生活道路対策モデル地区(清水区入江地区)における協議会に参加。 ・生活道路対策推進エリアにおける対策状況を確認する確認する意見 交換会を実施。	【浜松】 生活道路の安全対策を推進すべく、管内の自治体(浜松市、掛川市)へ 説明及び技術支援を実施。	
		静岡県	県内4地区で歩道整備等を実施。 (熱海中央地区・御殿場市新橋地区・沼津市駅北地区・富士宮市富士宮 地区)	藤枝市岡部町三輪地区で仮設ハンプ設置。	
		静岡市	・生活道路対策エリアである清水区入江地区において、昨年度に引続き協議会を開催し、交差点ハンプ2箇所を本格設置する事が決定した。 ・県内発事例となる「交差点ハンブ」と「スムース横断歩道」が一体となった整備を実施中。 ・短期対策として整備するグリーンベルトと合せて設置すべく、交差点ハンブの本格設置を実施中。 ・既存の協議会を活用し、静岡国道事務所と連携を図りながら、拡大エリアを抽出し、協議会において新たな対策箇所を検討。	・「入江西地区」において、スムース横断歩道付き交差点ハンプ2基を設置。 ・R1.12「入江東地区」の社会実験実施に伴い、地区内に交差点ハンプ1基及びイメージ狭さく4箇所を設置。R2.3末まで社会実験実施中。 ・R2.3に第8回入江地区生活道路安全対策協議会開催予定	
		浜松市	【ゾーン30】 ・平成30年度にゾーン30に指定される箇所の対策を実施。 【生活道路対策エリア】 ・「船越・野ロ・八幡地区」について、対策を実施中。 ・「曳馬地区」及び「飯田地区」の対策について、地元・公安委員会と協議中。	【ゾーン30】 ・令和元年度にゾーン30に指定される箇所の対策を実施予定。 【生活道路対策エリア】 ・「飯田地区」について、交差点ハンプや路面表示等の対策を実施。 ・「曳馬地区」について、グリーンベルトの設置等の対策を実施中。	
	・県下13市22地区において 基本構想を策定 ・平成32年度までに、特定道 路におけるパリアフリー化率 100%、信号機等のパリアフ リー化率100%	警察	整備。	・重点整備地区では、熱海市東海岸町交差点、御殿場駅乙女口交差点にそれぞれエスコートゾーンを整備。 ・同じく重点整備地区内の熱海市中央町交差点に視覚障害者用付加装置、御殿場市御殿場駅入口交差点に言響式付加装置を整備。 ・静岡駅、三島駅周辺の信号交差点にスマートフォンと連動した高度化PICS(歩行者支援装置)を整備、運用予定	
		国土交通省	実施なし	【浜松】 実施なし	
		静岡県	・パリアフリー基本構想における特定道路(県管理道路)の整備は完了。 ・H30は(一)沼津小山線(御殿場市湯沢)等でパリアフリー化を実施。 (※特定道路以外)	令和元年度指定の特定道路は68%整備済。 富士駅周辺地区で有効幅員拡幅、視覚障害者誘導ブロック設置。	
		静岡市	清水駅、草薙駅、安倍川駅周辺の主な生活道路関連経路において、歩 道整備及び視覚障害者誘導用ブロックの設置等を実施した。	・清水駅、草薙駅、安倍川駅周辺の主な生活道路関連経路において、歩道整備及び視覚障害者誘導用ブロックの設置等を実施した。(R1年度整備率71%) ・R1.7特定道路として L=22.87kmが追加指定。	
		浜松市	バリアフリー重点地区内の市道飯田鴨江線の交差点2箇所で、事故対策と合わせて交差点の平面横断化を推進。 ・北寺島町交差点(中区北寺島町):設計完了、工事着手 ・砂山東交差点(中区砂山町):設計完了	バリアフリー重点地区内の市道飯田鴨江線の交差点2箇所で、事故対策と合わせて交差点の平面横断化を推進。 ・北寺島町交差点(中区北寺島町):工事完了。 ・砂山東交差点(中区砂山町):工事着手。	
ける安全・安心	小学校、幼稚園、保育園及 び児童館等に通う児童や幼 児の安全な交通を確保	警察	・小学校の通学路1か所の信号機(浜北)をスクランブル化改良実施。・小学校通学路の信号機のLED化、歩行者用灯器の増設、押しボタン箱位置の見直し、横断秒数の延長、サイクル変更を実施。	・未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通安全の確保に向けた緊急安全点検を実施。 ・点検で上げられた対策必要箇所において、信号秒数変更や横断歩道の移設等を実施。	
		国土交通省	【静岡国道】 ・静岡市通学路交通安全対策プログラムに基づき、直轄国道での対策を実施。 ・自治体の依頼を受け、通学路対策推進会議等へ参加し、清水区における通学路危険箇所については、下記対策を実施及び検討。 ・小島:カーブ区間のアローマークの再舗装(白塗り) ・入江:横断歩道橋昇降口部における歩行者・自転車分離のためのポストコーン設置 【沼津河川国道】 国道1号沼津市天神ヶ尾地区において歩道空間改善のため、天神ヶ尾横断歩道橋の撤去について地元関係者と協を実施。また、中沢田・共栄町横断歩道橋階段部の付け替えについて詳細設計を実施。	【浜松】 実施なし	
		静岡県	・静岡県通学路推進会議を開催(H31.2.13)し、進捗管理。 ・平成30年度までに県管理道路上の通学路合同点検要箇所(全457箇所:道路管理車対策)のうち342箇所が完了。	R2.1.14に静岡県通学路安全対策会議を実施し、進捗管理。 令和元年度で489箇所中、391箇所対策終了予定。(道路管理者分)	
		静岡市	・静岡市通学路交通安全対策プログラムに基づき、小学校から出された 通学路の危険箇所について、関係機関が対策内容を検討した。平成30 年度の要対策箇所として出された70か所のうち道路管理者による対策 を実施した。 「静岡市歩行空間整備計画」に基づき設置されているグリーンベルトの 再設置を実施した。 ・過年度に出された危険箇所2か所(交差点改良、法面対策)について 整備完了。	・「静岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、小中学校から出された通学路の危険箇所131箇所について、関係機関と連携し、対策内容の検討を行った。うち市道路管理者分 69箇所(対策済:36箇所、R1~2実施予定:33箇所)・「静岡市歩行空間整備計画」に基づき設置されているグリーンベルトの再設置を実施した。・未就学児の安全対策として、141施設を対象に施設・警察・道路管理者での合同点検を実施した。点検に基づき、順次対策実施(R2完了予定)・主要交差点93箇所の緊急点検を実施し、62箇所において防護柵等の安全対策を順次対策実施(R2完了予定)。	
		浜松市	「浜松市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路整備要望箇所について、関係機関が連携を図り安全対策を検討・実施した。 H30年度整備要望箇所 110件 うち道路管理者分 88件 対策完了 47件 対策実施中又は次年度以降対策予定 38件 対応不可 3件	「浜松市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路整備要望箇所について、関係機関が連携を図り安全対策を検討・実施した。 R元年度整備要望箇所 116件 うち道路管理者分 104件 対策完了(予定) 76件 次年度以降対策予定 25件 対応不可 3件	

*	業名	事業概要	実施機関	平成30年度の実施結果	令和元年度の実施結果	備考
	④安全で快適 な自転車利用 環接の創出	自転車道や自転車専用通行帯等を整備し、誰もが安全では流に利用できる自転車流		自転車専用通行帯 800m整備	・自転車専用通行帯 約330m整備	
	環境の創出	快適に利用できる自転車通 行環境整備を推進	三尔	普通自転車歩道通行部分の指定 280m延伸	ロも十分日本では、そののCM金属	
			国土交通省	【静岡国道】 ・今年度末、池ヶ谷~清水間の約9. 1kmにおいて自転車走行空間整 備完了。(他事業区間: 0. 5km)	【浜松】 実施なし	
			静岡県		R1.12、清水町で自転車ネットワーク策定。 県管理道路では、車両混在型整備3.2km、自転車通行帯0.6km。 供用開始予定R2.3	
			静岡市	本村海岸17号線外8号線において、車道混在整備を実施完了 (4,425m)	富士由比線外10路線において、車道混在整備を実施完了(13,200m)	
			浜松市	(国)152号(市役所前交差点~下池川交差点) ・車道混在型(L=0.40km) H30.12供用 (一)浜名湖周遊自転車道線ほか(浜松市北区地内) ・車道混在型(L=12.4km) H30.11供用	(国) 152号、市道中央住吉線において、車道混在型の整備を実施。 (1.2km)	
		平成28年度までに対策実施 箇所における死傷事故件数 を約3割抑止 ・県下157箇所指定(H29.1) 平成22年までに対策実施箇 所における死傷事故件数を 約3割抑止	警察	・三島、浜松市内の事故危険箇所で信号機セパレート化、LED化、サイクル変更を実施。 ・自転車横断帯廃止による横断歩道の前出しを実施	・事故危険箇所の区間である国道136号、246号等で信号機のLED化を実施した他、静岡市内で自転車専用通行帯を指定。	
			国土交通省	【静岡国道】 対策未実施13箇所中4箇所について対策を実施。 【浜松河川国道】 H29.1に指定された4箇所について対策検討・設計を推進。	【浜松】 H29.1に指定された4箇所について対策検討・関係機関との調整を推進。	
			静岡県	・平成30年度、全45箇所(県管理道路)中、31箇所の対策が完了。	県内において、5箇所対策終了見込み。	
			静岡市	市内5か所の事故危険箇所において、対策を実施。 (清水区内4か所、葵区内1か所)	市内4か所の事故危険箇所において、対策を実施。 (葵区内4か所)	
			浜松市		対策未実施の42箇所の内、18箇所について交差点改良、歩道設置、カラー舗装、注意喚起路面標示の設置などによる安全対策を推進。	
	国道等の誤進 入(逆走)対策			中部横断自動車道、三遠南進道路、各SIC等、本年度供用開始予定の 箇所に一方通行、指定方向外進行禁止規制を実施	本年度開通した、日本平久能山SICや開通予定の駒門SICに一方通行、 指定方向外進行禁止規制を実施。	
				【静岡国道】  自動車専用道路以外のインターについて逆走対策を実施。	【浜松】 バイパス等のインターについて逆走対策を推進。	
			静岡県	・西富士道路(新富士IC)の逆走防止対策として、接続する県道一色久 沢線で路面表示を実施。	実施なし	
			静岡市	実施なし	実施なし	
			浜松市	実施なし	実施なし	
			NEXCO		・流出ICを誤った場合に逆走しないための案内看板の設置を順次開始。 ・バスストップからの人の立ち入り対策として、①本線外・市道からの入口部での案内看板の対策強化、②本線側・高速バス降車場所での出口案内看板と道路内立入禁止看板の対策強化について、対策案を策定	
	⑦信号制御の 高度化	信号制御の高度化	警察	時差式や右折矢印等の多現示化を実施。	信号右折矢印等の多現示化を実施。	
	トー体となった 駐車対策の推	違法駐車が著しい道路において、既存駐車施設等の有効利用を図るとともに、道路の構造や地域の交通実態等を勘案し、駐車禁止規制の見直しを行う。	警察	交通実態に即し、見直しを図り、駐車禁止・駐停車禁止40箇所減少 沼津市内のパーキングチケットを廃止	・交通実態に即し、規制の見直しにより、駐車禁止規制58区間を廃止。 ・静岡市葵区内のパーキングチケット廃止。(3路線、12基、49枠)	

事業名		事業概要	実施機関	平成30年度の実施結果	令和元年度の実施結果	備考
	ける対面通行 運用時の一般 道交通運用円 滑化	との連携を強化	NEXCO	・リニューアルエ事の事前広報として、TVCMや新聞広告により訴求。東名リニューアルエ事渋滞減らし隊キャンペーン※などを行い、新東名への迂回を推奨。 ・新東名への迂回交通に伴う渋滞対策として、走光型視線誘導システムを仮設にて増設。 ※新東名(新富士IC~長泉沼津IC)をご利用いただき、抽選に当選された方に、アンケートに回答頂くとお買物券を進呈。	・リニューアルエ事の事前広報として、TVCMや新聞広告により訴求。東名リニューアルエ事渋滞減らし隊キャンペーン※などを行い、新東名への迂回を推奨。 ・東名リニューアルエ事の対面通行区間での事故・渋滞対策として、走光型視線誘導システムを導入。 ※新東名(新清水JCT〜御殿場JCT)をご利用、もしくは、20時から翌6時の時間帯に東名高速道路(清水JCT〜御殿場JCT)をご利用いただき、抽選に当選された方に、アンケートに回答頂くとお買物券を進呈。	
	通システム(IT S)の推進	・交通管制センターの高度化 を図るとともに、新たな信号 制御方式の導入などにより、 交通の円滑な確保に努め る。	警察	・交通管制システム下位装置の更新(本部管制センター) ・広域イーサネットを用いた信号機の回線集約(静岡中央・清水)	・交通管制システム下位装置(浜松都市センター)を更新するとともに、 広域イーサネットを用いた信号機の回線集約(浜松)。	
		・各管理者間の情報を共有し適切な情報提供し、道路利用者に対して円滑な誘導ができるよう施設の充実を図る。	国土交通省			
			静岡県	実施なし。	実施なし	
			静岡市	市内2か所のアンダーパスの冠水情報をリアルタイムに、静岡市が運用しているシステム「しずみちinfo」に取り込み完了。	実施なし。	
			浜松市	実施なし。	実施なし。	
			NEXCO	路選択するために役立つ情報を提供。	・集中工事及びリニューアル工事では、インターネットの特設サイトを設置し、工事情報や工事規制区間の所要時間情報などの、ドライバーが経路選択するために役立つ情報を提供。 ・リニューアル工事における所要時間情報についてはブルートゥースを活用。	
その他 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	充実	・道路利用者の円滑な移動を支援するため、公共サインの連続性・統一性を確保するとともに、「しずおか公共サイン整備ガイドライン」に基づき、整備を進める。		【静岡国道】 ・静岡県内における高速道路ナンバリング実施。 【浜松河川国道】 ・ラグビーワールドカップ開催に向け、高速道路ナンバリングを実施。 ・「観光立国や地方創生の実現に向け、交差点名標識に観光地の名称を表示することにより観光地への分かり易い案内となるよう、標識の改善の取組の推進」に基づき、国道1号「梅橋」を「エコパ北」に変更。	【浜松】 ・静岡県内における高速道路ナンバリング実施。	
			静岡県	・高速道路ナンバリングの整備を推進。 ・英語表記の改善を推進。	・高速道路ナンバリングの整備を推進。 ・英語表記の改善を推進。	
			静岡市	高速道路ナンバリングに向けた整備工事を実施。	・高速道路ナンバリングの整備を完了予定。	
			浜松市	・高速道路ナンパリングに向けた検討・設計を実施。 ・(仮称) 舘山寺スマートICの供用に向けた標識配置計画の検討を実施。	高速道路ナンバリングの整備工事を実施。	
			NEXCO	・標識令の改正に伴い、高速道路ナンバリングの整備方針を関係機関と協議の上、本線等の設計を完了。今後、工事実施予定。	・ナンバリング対応工事を実施中。	